



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月7日  
上場取引所 東

上場会社名 東芝テック株式会社  
 コード番号 6588 URL <http://www.toshibatec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 隆之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 広報室長 (氏名) 水野 隆司 TEL 03-6830-9151  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	116,554	1.9	4,098	△4.0	4,209	25.5	4,202	161.2
2019年3月期第1四半期	114,404	△1.1	4,268	26.9	3,355	9.9	1,608	10.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,561百万円 (△15.6%) 2019年3月期第1四半期 1,849百万円 (△13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	76.46	76.38
2019年3月期第1四半期	29.27	29.24

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	294,651	100,624	31.0
2019年3月期	275,055	100,758	33.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 91,207百万円 2019年3月期 90,898百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	4.00	—	30.00	—
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	20.00	—	40.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	235,000	△0.5	8,000	11.3	7,000	18.7	4,600	6.8	83.70
通期	480,000	0.7	20,000	11.2	18,000	9.3	12,000	7.0	218.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 —社（社名）—、除外 —社（社名）—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 当社の在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」及び米国会計基準ASU 2016-02「リース」を適用しております。これに伴う影響額は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	57,629,140株	2019年3月期	57,629,140株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,671,002株	2019年3月期	2,670,805株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	54,958,298株	2019年3月期1Q	54,940,482株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国では景気は堅調に推移したものの、欧州及びアジアでは総じて景気は緩やかに減速いたしました。また、日本経済は、個人消費が緩やかに回復したことなどから、景気は概ね拡大基調で推移したものの、輸出及び設備投資が伸び悩んだことなどから、一時的に減速いたしました。

このような状況下で、当社グループは「グローバルワンストップソリューション企業」を目指し、「原価低減加速、生産性向上による安定収益体制の構築」、「コアビジネスによる市場先行」及び「ソリューション・サービス事業拡大」に鋭意努めてまいりました。

売上高につきましては、海外市場向け複合機及び海外市場向けPOSシステムは減少しましたが、国内市場向けPOSシステムが増加したことなどから、1,165億54百万円（前年同期比2%増）となりました。また損益につきましては、海外市場向けPOSシステムの損益の悪化などから、営業利益は40億98百万円（前年同期比4%減）となりましたが、営業外損益の改善により、経常利益は42億9百万円（前年同期比25%増）となり、法人税等の減少などから、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億2百万円（前年同期比161%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの状況は、次のとおりであります。

## (リテールソリューション事業)

国内及び海外市場向けPOSシステム、国内市場向け複合機、国内市場向けオートIDシステム、並びにそれらの関連商品などを取り扱っているリテールソリューション事業は、競合他社との競争激化が続く厳しい事業環境の中で、マーケットニーズにマッチした新商品の開発、主力・注力商品の拡販、エリア・マーケティングの推進、コスト競争力強化による収益体質向上などに鋭意注力いたしました。

国内市場向けPOSシステムは、コンビニエンスストア、量販店及び専門店向けPOSシステムを中心に販売が好調であり、特に人手不足を背景にセミセルフレジの売上が伸長したことから、売上は増加いたしました。

海外市場向けPOSシステムは、北米で売上が増加しましたが、前年同期に大口物件が集中した反動によりアジアで売上が減少したことなどから、売上は減少いたしました。

国内市場向け複合機は、販売台数が前年同期並みで推移したことなどから、売上は前年同期並みとなりました。

国内市場向けオートIDシステムは、バーコードプリンタの販売台数が減少したことなどから、売上は減少いたしました。

この結果、リテールソリューション事業の売上高は、728億2百万円（前年同期比5%増）となりました。また、同事業の営業利益は、海外市場向けPOSシステムの損益の悪化などから、26億34百万円（前年同期比4%減）となりました。

## (プリンティングソリューション事業)

海外市場向け複合機、海外市場向けオートIDシステム、国内及び海外市場向けインクジェットヘッド、並びにそれらの関連商品などを取り扱っているプリンティングソリューション事業は、競合他社との価格競争激化が続く厳しい事業環境の中で、戦略商品の拡販、オフィス領域の業務ソリューションの拡充、パーティカル市場と新規事業領域の開拓の推進などに鋭意注力いたしました。

海外市場向け複合機は、中国で売上が増加しましたが、為替の影響などにより欧州及びアジアで売上が減少したことなどから、売上は減少いたしました。

海外市場向けオートIDシステムは、欧州及びアジアで売上が減少しましたが、米州で売上が増加したことから、売上は増加いたしました。

インクジェットヘッドは、中国で売上が増加しましたが、北米で売上が減少したことなどから、売上は減少いたしました。

この結果、プリンティングソリューション事業の売上高は、457億72百万円（前年同期比3%減）となりました。また、同事業の営業利益は、減収の影響などから、14億63百万円（前年同期比4%減）となりました。

(注) オートIDシステムとは、ハード・ソフトを含む機器により、自動的にバーコード、ICタグなどのデータを取り込み、内容を識別・管理するシステムをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ195億96百万円増加し、2,946億51百万円となりました。これは、流動資産の「受取手形及び売掛金」が68億44百万円、「その他」が17億14百万円減少しましたが、当第1四半期連結会計期間より、当社の在外連結子会社について、IFRS第16号「リース」及びASU 2016-02「リース」を適用したことなどにより固定資産の「有形固定資産」が161億56百万円増加したこと、また流動資産の「現金及び預金」が112億37百万円増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度に比べ197億29百万円増加し、1,940億26百万円となりました。これは、当第1四半期連結会計期間より、当社の在外連結子会社について、IFRS第16号「リース」及びASU 2016-02「リース」を適用したことなどにより、流動負債の「その他」が43億74百万円、固定負債の「その他」が127億62百万円増加したこと、また流動負債の「支払手形及び買掛金」が25億35百万円増加したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度に比べ1億33百万円減少し、1,006億24百万円となりました。これは主に、「利益剰余金」が親会社株主に帰属する四半期純利益により42億2百万円増加しましたが、配当金の支払いにより16億48百万円減少したこと、またその他の包括利益累計額の「為替換算調整勘定」が18億8百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日の2019年3月期決算発表時の予想を変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,501	56,738
グループ預け金	9,996	5,078
受取手形及び売掛金	60,054	53,210
商品及び製品	34,775	35,435
仕掛品	1,905	5,849
原材料及び貯蔵品	6,584	7,998
その他	31,888	30,174
貸倒引当金	△1,443	△1,458
流動資産合計	189,263	193,027
固定資産		
有形固定資産	28,290	44,446
無形固定資産		
のれん	3,691	3,303
その他	10,055	9,811
無形固定資産合計	13,746	13,115
投資その他の資産		
その他	43,909	44,207
貸倒引当金	△153	△145
投資その他の資産合計	43,755	44,061
固定資産合計	85,792	101,624
資産合計	275,055	294,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,215	58,750
短期借入金	383	374
未払法人税等	1,800	2,069
その他	68,374	72,748
流動負債合計	126,774	133,944
固定負債		
退職給付に係る負債	34,621	34,419
その他	12,901	25,663
固定負債合計	47,523	60,082
負債合計	174,297	194,026
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	39,970	39,970
利益剰余金	45,103	47,611
自己株式	△5,474	△5,475
株主資本合計	79,599	82,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,835	1,532
繰延ヘッジ損益	21	△12
為替換算調整勘定	9,111	7,302
最小年金負債調整額	△458	△452
退職給付に係る調整累計額	788	730
その他の包括利益累計額合計	11,298	9,100
新株予約権	147	147
非支配株主持分	9,712	9,269
純資産合計	100,758	100,624
負債純資産合計	275,055	294,651

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	114,404	116,554
売上原価	65,855	67,922
売上総利益	48,549	48,632
販売費及び一般管理費	44,280	44,534
営業利益	4,268	4,098
営業外収益		
受取利息	117	73
受取配当金	23	58
為替差益	25	303
その他	94	147
営業外収益合計	261	582
営業外費用		
支払利息	88	99
デリバティブ評価損	807	143
その他	279	228
営業外費用合計	1,175	471
経常利益	3,355	4,209
特別損失		
事業構造改革費用	—	127
特別損失合計	—	127
税金等調整前四半期純利益	3,355	4,081
法人税等	1,662	34
四半期純利益	1,692	4,047
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	84	△155
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,608	4,202



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,692	4,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107	△303
繰延ヘッジ損益	19	△33
為替換算調整勘定	△22	△2,096
最小年金負債調整額	△2	6
退職給付に係る調整額	55	△58
その他の包括利益合計	156	△2,485
四半期包括利益	1,849	1,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,489	2,003
非支配株主に係る四半期包括利益	360	△442

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」及び米国会計基準 ASU 2016-02「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当四半期連結貸借対照表の期首における使用権資産「有形固定資産」(純額)等が186億80百万円、短期リース債務「流動負債－その他」が44億95百万円、長期リース債務「固定負債－その他」が142億30百万円それぞれ増加し、「利益剰余金」が45百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	リテール ソリューション	プリンティング ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,452	44,952	114,404	—	114,404
セグメント間の 内部売上高又は振替高	26	2,151	2,177	△2,177	—
計	69,478	47,103	116,582	△2,177	114,404
セグメント利益	2,751	1,517	4,268	—	4,268

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	リテール ソリューション	プリンティング ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	72,750	43,804	116,554	—	116,554
セグメント間の 内部売上高又は振替高	52	1,968	2,020	△2,020	—
計	72,802	45,772	118,575	△2,020	116,554
セグメント利益	2,634	1,463	4,098	—	4,098

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

※補足情報

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
平均レート(US\$)(円)	108.11	110.75
平均レート(EUR)(円)	129.91	123.57